

科目名	テクノロジー	単位数	3	科目コード				
授業形態	講義	時間数	90	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験（ITSSレベル2）の午前問題のうちテクノロジー分野の知識にかかわる講義。							
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験（ITSSレベル2）の午前問題のうち、テクノロジー分野で合格ラインを超える得点が得られること。 2) 今後、IT系分野もしくはその他の分野で勉強し続ける習慣を身に付けること。							
受講条件	なし							
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：ITワールド（インフォテックサーブ） 事前学習：教科書付属のサブノートの空欄を埋めてから受講のこと							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・ ITSSレベル2以下の試験に合格できるテクノロジー分野の知識、理解を得ること								
☑ 思考・判断の観点 ・ 動作原理を考え、理解ができること								
☑ 関心・意欲の観点 ・ 学習を続ける習慣が身につくこと								
☑ 態度の観点 ・ IT系分野の関心・意欲を高め、自宅学習や今後の学習における集中力・継続力が身につくこと								
☑ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
・前期中にITSSレベル2以下の試験（ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験）に合格できるよう、テクノロジー分野に関する知識、理解を得ることを目標とする。 ・この授業科目で学習する内容は、今後3年間、専門分野を学ぶ上での基礎となる内容であるので、理解できるまで繰り返し指導を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	コンピュータの基本構成、コンピュータのデータ表現							
7～12	中央処理装置と主記憶装置							
13～18	補助記憶装置、入出力装置							
19～24	情報処理システムの処理形態、高信頼化システムの構成							
25～30	情報処理システムの評価、ヒューマンインタフェース、マルチメディア							
31～36	ソフトウェアの分類、オペレーティングシステム							
37～42	プログラム言語と言語プロセッサ、ファイル							
43～48	データベースの概要、SQL							
49～54	SQL、いろいろなデータベース							
55～60	インターネット、ネットワークアーキテクチャ、LAN							
61～66	ネットワークの仕組み、ネットワークの管理							
67～72	情報セキュリティの概要、情報セキュリティ対策							
73～78	問題演習および解説							
79～84	問題演習および解説							
85～90	問題演習および解説							
成績評価方法								
1 ITSSレベル2以下に相当する公的試験の結果								
2 定期試験								
3 小テスト								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○					70	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	○	○				30	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	杉林 伸繁		実務経験紹介					

科目名	マネジメント	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験（ITSSレベル2）の午前問題のうちマネジメント分野の知識にかかわる講義。							
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験（ITSSレベル2）の午前問題のうち、マネジメント分野で合格ラインを超える得点が得られること。 2) 今後、IT系分野もしくはその他の分野で勉強し続ける習慣を身に付けること。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） 事前学習：教科書付属のサブノートの空欄を埋めてから受講のこと							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・ ITSSレベル2以下の試験に合格できるマネジメント分野の知識、理解を得ること								
☑ 思考・判断の観点								
☑ 関心・意欲の観点 ・ 学習を続ける習慣が身につくこと								
☑ 態度の観点 ・ IT系分野の関心・意欲を高め、自宅学習や今後の学習における集中力・継続力が身につくこと								
☑ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
・ 前期中にITSSレベル2以下の試験（ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験）に合格できるよう、マネジメント分野に関する知識、理解を得ることを目標とする。 ・ この授業科目で学習する内容は、2年次以降に行われる「グループによるアプリ開発」を行う際に重要な知識であるので、理解できるまで繰り返し指導を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	プロジェクトマネジメントの概要							
5～8	プロジェクトマネジメントのプロセス（統合、ステークホルダー、スコープ）							
9～12	プロジェクトマネジメントのプロセス（資源、時間、コスト）							
13～16	プロジェクトマネジメントのプロセス（リスク、品質、調達、コミュニケーション）							
17～20	サービスマネジメントの概要							
21～24	サービスマネジメントの手法（設計、移行）							
25～28	サービスマネジメントの手法（運用、ファシリティマネジメント）							
29～32	システム監査							
33～36	内部統制							
37～40	問題演習および解説							
41～44	問題演習および解説							
45～48	問題演習および解説							
49～52	問題演習および解説							
53～56	問題演習および解説							
57～60	問題演習および解説							
成績評価方法								
1 ITSSレベル2以下に相当する公的試験の結果								
2 定期試験								
3 小テスト								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○						60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○		○				20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○		○				20	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	西田 直喜		実務経験紹介					

科目名	ストラテジー	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験（ITSSレベル2）の午前問題のうちストラテジー分野の知識にかかわる講義。							
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験（ITSSレベル2）の午前問題のうち、ストラテジー分野で合格ラインを超える得点が得られること。 2) 今後、IT系分野もしくはその他の分野で勉強し続ける習慣を身に付けること。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） 事前学習：教科書付属のサブノートの空欄を埋めてから受講のこと							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・ ITSSレベル2以下の試験に合格できるストラテジー分野の知識、理解を得ること								
☑ 思考・判断の観点								
☑ 関心・意欲の観点 ・ 学習を続ける習慣が身につくこと								
☑ 態度の観点 ・ IT系分野の関心・意欲を高め、自宅学習や今後の学習における集中力・継続力が身につくこと								
☑ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
・ 前期中にITSSレベル2以下の試験（ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験）に合格できるよう、ストラテジー分野に関する知識、理解を得ることを目標とする。 ・ この授業科目で学習する内容は、就職活動において業界研究・企業研究を行う際に重要な知識であるので、理解できるまで繰り返し指導を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	企業活動							
5～8	企業会計							
9～12	経営科学							
13～16	法務と標準化							
17～20	経営戦略マネジメント							
21～24	技術戦略マネジメント							
25～28	ビジネスインダストリ							
29～32	情報システム戦略の概要							
33～36	情報システム企画							
37～40	システム開発技術							
41～44	ソフトウェア開発技術							
45～48	システム開発環境							
49～52	Webアプリケーション開発							
53～56	問題演習および解説							
57～60	問題演習および解説							
成績評価方法								
1 ITSSレベル2以下に相当する公的試験の結果								
2 定期試験								
3 小テスト								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○						60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○		○				20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○		○				20	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	西田 直喜		実務経験紹介					

科目名	アルゴリズム	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験（ITSSレベル2）のうちアルゴリズムにかかわる演習。 ソフトウェアを開発する上で、目的に合わせて適切な処理の手順（アルゴリズム）とデータの表現方法（データ構造）を選択することが常に必要。この授業では特定のプログラミング言語に依存しないフローチャートを用いて、様々なアルゴリズムとデータ構造の学習を行う。							
授業の一般目標	1) 問題を解決するためのアルゴリズムの流れ図を用いて記述することができる 2) プログラム実行中の変数の変化を把握するためのトレースを行うことができる 3) 配列や木構造について、その概念や各種手法を理解できる 4) いろいろな探索手法について、その概念や実現方法が理解できる 5) いろいろなソート手法について、その概念や実現方法が理解できる							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：データ構造とアルゴリズム（インフォテック・サーブ）							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・制御構造を中心としたアルゴリズムの基本となる考え方の習得に重点を置く								
☑ 思考・判断の観点 ・与えられた問題の机上デバッグにおいて、変数のトレースを正確に行うことができる								
☑ 関心・意欲の観点 ・PC上でトレースが行える補助教材を使用し、机上デバッグの検証作業を行う								
☑ 態度の観点 ・トレースできる、問題文からイメージ図が書ける								
☑ 技能・表現の観点 ・フローチャートから疑似言語によるアルゴリズム表記の学習を行う								
授業計画（全体）								
・完全初心者想定しゆっくりと進行 ・フローチャートの穴埋め問題は、自分で考える→隣同士で教え合う→モニターで説明する ・できる学生は、PC上で動作する補助教材を使用し基本問題→演習問題に進み、待ち時間がないように工夫する ・フローチャートの継続条件（終了条件）の意味、配列のイメージと添字の役割を毎回確認する ・フローチャート⇄疑似言語ができるようにする								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	アルゴリズムの基礎（アルゴリズムとは）							
5～8	アルゴリズムの基礎（アルゴリズムの表記法・代表的な流れ図記号）							
9～12	アルゴリズムの基礎（疑似言語）							
13～16	データ構造（配列／ハッシュ表）							
17～20	データ構造（リスト／単方向リストの基本操作）							
21～24	データ構造（スタック／キュー）							
25～28	データ構造（木構造／2分木の基本操作）							
29～32	探索アルゴリズム（線形探索／ハッシュ探索）							
33～36	探索アルゴリズム（2分探索／探索の計算量）							
37～40	整列アルゴリズム（基本選択法／ヒープソート）							
41～44	整列アルゴリズム（基本交換法／シェーカーソート）							
45～48	整列アルゴリズム（基本挿入法／シェルソート）							
49～52	整列アルゴリズム（クイックソート／マージソート）							
53～56	文字列操作（総当たり法／KMP法／ボイヤ・ムーア法）							
57～60	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記） 2 宿題授業外レポート 3 Web学習サイトでの自己研鑽の質と量 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○		○		90	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	森野 茂弘		実務経験紹介					

科目名	プログラム言語 I	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	使用言語：Java プログラミング初心者（高校で実施されたプログラミング授業はなかったものとする）を対象としてプログラミングの基本を学習する。この授業では、オブジェクト指向を学習対象外とする。							
授業の一般目標	1) 基本的なJava言語の文法を理解し、Java言語で記述されたプログラムの処理内容を把握することができる。 2) 可読性の高くなるような、適切な変数名をつけることができる。 3) 文法エラーを自力で修正できる。 4) バグに遭遇した時、トレースなどのデバッグ技法を使って対処できる。 5) 旧基本情報技術者試験のアルゴリズム問題をJava言語で実装することができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：新わかりやすいJava 入門編 第3版							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 ・基本的なJava言語の文法を理解し、Java言語で記述されたプログラムの処理内容を把握することができる。								
☒ 思考・判断の観点 ・文法エラーを自力で修正できる ・バグに遭遇した時、トレースなどのデバッグ技法を使って対処できる。								
☒ 関心・意欲の観点 ・Web学習サイトを使って復習、予習を行うことができる								
☒ 態度の観点 ・分からないことや出来ないことがあっても諦めずに挑戦し続けることができる。 ・課題が早く終わった場合は、完了していない周りのクラスメイトにアドバイスなどを自ら積極的に行うことができる。								
☒ 技能・表現の観点 ・簡単なアルゴリズムをJava言語で実装できる。								
授業計画（全体）								
・完全初心者を対象とするゆったり進行 ・プログラミングが苦手な学生が隣同士にならないよう席替えの実施（学生間の教えあいを奨励） ・できていない学生を待っている、優秀な学生のために追加課題を出題。 ・Web学習サイト、paizaでの自己研鑽を奨励。								
授業計画（授業単位）								
回数/日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1～6	プログラミング環境構築	paizaでの自己学習を奨励						
7～12	はじめてのJava（基本のプログラム構造、文字列の出力）	paizaでの自己学習を奨励						
13～18	変数と演算（変数、四則演算、キーボードからの入力）	paizaでの自己学習を奨励						
19～24	問題演習（前回までの復習）	paizaでの自己学習を奨励						
25～30	条件分岐（if、比較演算子、else、elif、複合条件式）	paizaでの自己学習を奨励						
31～36	繰り返し処理（1）（for、while、複合代入演算子）	paizaでの自己学習を奨励						
37～42	繰り返し処理（2）（break、continue、制御構造のネスト）	paizaでの自己学習を奨励						
43～48	繰り返し処理（3）（配列）	paizaでの自己学習を奨励						
49～54	問題演習（前回までの復習）	paizaでの自己学習を奨励						
55～60	Gitの環境構築	paizaでの自己学習を奨励						
61～66	Gitの基礎/GitHubへの登録	paizaでの自己学習を奨励						
67～72	問題演習（夏休みまでの復習）	paizaでの自己学習を奨励						
73～78	基本ライブラリ（1）（文字列操作、日付、例外処理）	paizaでの自己学習を奨励						
79～84	基本ライブラリ（2）（テキストファイル入出力、ファイルパス）	paizaでの自己学習を奨励						
85～90	期末テスト	paizaでの自己学習を奨励						
成績評価方法								
1 期末試験（Paiza）								
2 宿題授業外レポート								
3 Web学習サイトでの自己研鑽の質と量								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○			○		40	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	○		○			20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○	○		○		40	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	柳川 小次郎		実務経験紹介					

科目名	情報セキュリティ		単位数	3	科目コード			
授業形態	講義		時間数	90	開設期	2025		
受講条件			開設時期	1 後	教員実務経験対象	—		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ITエンジニアとして必要となる開発者としての情報セキュリティ確保に関する知識を教授する。 「情報セキュリティマネジメント試験」に合格できるレベルまで知識と勉強方法を習得する。							
授業の一般目標	1) 年度末までに、国家資格「情報セキュリティマネジメント試験」を受験・合格する。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト： 情報セキュマネ試験 要点&問題集 (インフォテックサーブ)							
授業の到達目標								
知識・理解の観点	・ 攻撃手法の特徴と原因を説明できる。 ・ 攻撃手法に対する防御方法を説明できる。							
思考・判断の観点	・ 収集した通信ログから不審な痕跡を発見できる							
関心・意欲の観点	・ テキストに掲載されていない内容をWebから収集できる							
態度の観点	・ 国家試験の「情報セキュリティマネジメント試験」を受験する							
技能・表現の観点								
授業計画 (全体)	情報セキュリティに関する攻撃手法や対策手法を座学で学習するだけでなく、実際に手元手法をで試すことにより理解を深める。 侵入対象 (防御対象) となるサーバはサイバーセキュリティトレーニングサイト、TryHackMe(https://tryhackme.com/) を用いる。							
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	情報セキュリティマネジメント試験について (試験精度、学習方法、問題演習) TryHackMeの使い方、自己学習のススメ方							
7～12	情報セキュリティ全般 1		TryHackMeで自己学習を奨励					
13～18	情報セキュリティ全般 2		TryHackMeで自己学習を奨励					
19～24	情報セキュリティ全般 3		TryHackMeで自己学習を奨励					
25～30	情報セキュリティ対策 1		TryHackMeで自己学習を奨励					
31～36	情報セキュリティ対策 2		TryHackMeで自己学習を奨励					
37～42	情報セキュリティ管理		TryHackMeで自己学習を奨励					
43～48	情報セキュリティ関連法規 演習問題		TryHackMeで自己学習を奨励					
49～54	模擬問題および解説		TryHackMeで自己学習を奨励					
55～60	問題演習および解説		TryHackMeで自己学習を奨励					
61～66	問題演習および解説							
67～72	問題演習および解説							
73～78	問題演習および解説							
79～84	問題演習および解説							
85～90	問題演習および解説							
成績評価方法								
1	情報セキュリティマネジメント試験を受験し、合否を元に評価する。							
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート	○	○	○	○			100	良、B (2) : 70点以上
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はGPA点数
担当教員	西田 直喜		実務経験紹介					

科目名	ネットワーク入門	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネットワークにかかわる基礎理論と入門的な知識を教授する。基本情報技術者、応用情報技術者のネットワーク知識を演習によって習得する。また、家庭内およびSOHOでのネットワーク構築ができるようになることを目標とする。							
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験に出題されるネットワークの問題を解くことができる。 2) ネットワークの動作原理を理解し、障害発生時に対応できる。 3) 家庭内およびSOHOでのネットワークを自分で構築することができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点		・必要とされる機能の理解と、それを実現するための技術の理解ができる ・期末試験において合格点以上をとることができる						
☑ 思考・判断の観点		・ネットワークの動作原理の理解と、理論的な推論に基づくトラブルシューティングができる						
☑ 関心・意欲の観点		・ネットワークを自分で構築することができるようになる						
☑ 態度の観点								
☑ 技能・表現の観点		・ネットワーク演習において適切な設定を施すことができる						
授業計画 (全体)								
(1) 一日2～3コマ (90分) の授業のうち、1～2コマをe-Learning (Network Essentials) に充てる (2) 残り1～2コマをNetwork Essentials内のラボの演習及びPacketTracerを用いたネットワーク演習に充てる (3) 適当な時期にNetwork Essentials内の試験を実施する								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	授業目的、内容、進め方、評価方法説明							
7～12	1章 ネットワークの仕組み							
13～18	2章 日常生活におけるネットワーク							
19～24	3章 ローカルネットワークでの通信							
25～30	4章 ネットワークアドレス							
31～36	5章 ネットワークサービスの提供							
37～42	1～5章のチェックポイント試験							
43～48	6章 ホームネットワークの構築							
49～54	7章 ネットワークセキュリティ							
55～60	8章 シスコデバイスの設定							
61～66	9章 テストとトラブルシューティング							
67～72	Network Essentials 実践演習パケットトレーサー							
73～78	Network Essentials 最終模擬試験							
79～84	Network Essentials 最終試験							
85～90	期末テスト							
成績評価方法								
1 Network Essentialsの各章のクイズ、1～5章のチェックテスト、最終模擬試験、最終試験								
2 期末テスト (国家試験ネットワークスペシャリスト午後Ⅰ相当) を行う								
3 授業態度								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					45	秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○			○		45	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度	○	◎	○		◎		10	可、C (1) : 60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はGPA点数
担当教員	杉林 伸繁		実務経験紹介					

科目名	データベース入門	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	データベースにかかわる基礎理論と入門的な知識を教授する。							
授業の一般目標	1) データベース及びデータベース管理システムについて説明できる。 2) データベース設計に必要なデータモデルや正規化について説明できる。 3) データベース設計・正規化ができる。 4) システムの目的に沿った概念スキーマ、外部スキーマの開発ができる。 5) データ操作言語を用いて、基本的なデータベースの操作ができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	・データベース及びデータベース管理システムについて説明できる。 ・データベース設計に必要なデータモデルや正規化について説明できる。							
☑ 思考・判断の観点	・第三者の目的に沿った概念設計・論理設計・物理設計を表現できる。 ・各種設計を基にテーブル設計仕様書を作成できる。							
☑ 関心・意欲の観点	・テキストに掲載されている演習問題をすべて解答できている。							
☑ 態度の観点	・授業に主体的に取り組み、周囲との共同作業も円滑に実施できている。							
☑ 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)								
データベースの基礎知識から学ぶ。その後、概念設計・論理設計・物理設計の順に学んでいく。また、論理設計を学ぶ途中に正規化、物理設計を学ぶ途中にテーブル設計仕様書について学ぶ。 その後は問題を通して、概念設計からテーブル設計仕様書の作成を行う。成果物はグループワークを行ってもらう。								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	データベースの概要							
7～12	データベース管理システム							
13～18	データモデル／主キーと外部キー							
19～24	データベース設計(概念設計)							
25～30	データベース設計(概念設計)							
31～36	データベース設計(論理設計)							
37～42	データベース設計(論理設計)							
43～48	正規化							
49～54	正規化							
55～60	データベース設計(論理設計)							
61～66	データベース設計(論理設計)							
67～72	テーブル設計仕様書							
73～78	総合演習 1							
79～84	総合演習 2							
85～90	期末テスト							
成績評価方法								
1 期末試験 (筆記)								
2 出席率及び授業態度								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					80	秀、S (4) : 90 点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80 点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70 点以上
授業態度				◎			20	可、C (1) : 60 点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59 点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はG P A点数
担当教員	杉林 伸繁			実務経験紹介				

科目名	システム開発演習		単位数	3	科目コード			
授業形態	演習		時間数	90	開設期	2025		
受講条件			開設時期	1 後	教員実務経験対象	—		
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	使用言語：Java データベースとJavaを用いて販売管理システムをチームで開発する。 要件定義から設計、実装、テストといったシステム開発の全工程を体験し、実践的なスキルと開発思考を習得する。 開発演習は4人1組のチームチームで行い、チーム内での進捗確認や問題解決を図りながら開発作業をすすめる。							
授業の一般目標	1) オブジェクト指向でソフトウェア開発を行うことができる。 2) ソフトウェア開発の各工程において、何を行うのか説明することができる。 3) チームの一員として、プロジェクトに貢献することができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：Javaシステム開発（インフォテックサーブ）							
授業の到達目標								
知識・理解の観点	・オブジェクト指向の特徴を説明できる ・要件定義、設計、実装、テストの各工程で何を行うのか説明することができる。							
思考・判断の観点	・Java言語を使って、DB連携ができるアプリを作成できる ・ユースケース図、シーケンス図を作成できる							
関心・意欲の観点	・より高性能・高品質なプログラムとなるよう、自ら調査・研究することができる							
態度の観点	・チームの一員として、プログラム開発に貢献することができる							
技能・表現の観点	・プログラムをバグなく実装できる。 ・利用するユーザの立場に立って、UIやUXを作成することができる。 ・第三者の立場に立って、仕様書などを記述できる。							
授業計画（全体）								
ソフトウェア開発工程の習得、チーム開発のノウハウの習得、クラス図・シーケンス図の理解、Javaコーディングスキルの習得、単体テスト・結合テスト実装スキルの習得を目指す。 講師からは学生へは最低限のアドバイスのみにとどめ、口出しは行わない。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～6	開発準備							
7～12	開発準備							
13～18	要件確認							
19～24	要件確認							
25～30	設計							
31～36	設計							
37～42	構築							
43～48	構築							
49～54	テスト							
55～60	テスト							
61～66	振り返り							
67～72	プログラム修正							
73～78	プログラム修正							
79～84	成果発表準備							
85～90	成果発表会							
成績評価方法								
1 チームでオブジェクト指向開発し、仕様書の中身、プレゼン、ソースコードを基に評価								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○	○	○		100	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介				

科目名	マイコンピュータ演習 I	単位数	2	科目コード						
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2025					
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	—					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	Windowsの基本操作、アプリケーションソフトのインストール、および基本的管理作業の習得。									
授業の一般目標	1) 今後の授業で使用するアプリケーションソフトを、自宅学習ができるよう自宅のパソコンにインストールができる。 2) 下を見ないでキーボード入力を行うことができる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☒ 知識・理解の観点 ・表計算ソフトの基本的な関数を活用できる										
☒ 思考・判断の観点										
☒ 関心・意欲の観点										
☒ 態度の観点										
☒ 技能・表現の観点 ・Windowsの基本操作とアプリケーションソフトのインストールができる ・下を見ないでキーボード入力ができる										
授業計画 (全体)										
授業を履修している全員がパソコンを始めて触れたものとして授業を進行する。 特に、タイピングに関しては放課後や自宅での自学自習を推奨し、練習時間も成績評価基準の一つとする。										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1~6	パソコン組み立て									
7~12	OSインストール (Windows10)、ネットワーク設定									
13~18	アプリケーションインストール (Office、Chrome、Adobe Reader、etc.)									
19~24	メール、グループウェアインストール、設定									
25~30	タイピングソフトインストール、ファイルパス演習									
31~36	国家試験受験登録、タイピング練習									
37~42	ワードプロセッサ基礎練習、タイピング練習									
43~48	ワードプロセッサ基礎練習、タイピング練習									
49~54	表計算基礎練習、タイピング練習									
55~60	表計算基礎練習、タイピング練習									
成績評価方法										
1 期末テスト (実技テスト)										
2										
3										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験	○				○		100	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	西田 直喜		実務経験紹介							

科目名	マイコンピュータ演習Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	Linuxの基本操作、アプリケーションソフトのインストール、および基本的管理作業の習得。							
授業の一般目標	1) Linuxの特徴を説明することができる。 2) CUIを使った基本操作ができる。 3) アプリケーションソフトのインストールができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 ・Linuxの特徴 (Windowsとの違い) を説明できる。								
☒ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点 ・Linuxの基本操作とアプリケーションソフトのインストールができる								
授業計画 (全体)								
初心者向けにCUIコマンド、ファイル管理、ユーザー登録、ネットワーク設定、ソフトウェアのインストールなどを学習する。								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	Linuxの基本的な概念と環境構築							
7～12	ターミナルと基本的なコマンド							
13～18	ファイルとディレクトリの管理							
19～24	ファイルのパーミッションとユーザ管理							
25～30	ネットワークの基本設定							
31～36	ソフトウェアのインストールと管理							
37～42	Linux環境のカスタマイズ							
43～48	トラブルシューティングと自動化							
49～54	Linuxシステムのシステム管理							
55～60	期末テスト							
成績評価方法								
1 期末試験 (筆記)								
2 提出物 (課題演習)								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				○		60	秀、S (4) : 90点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート	○		○		○		40	良、B (2) : 70点以上
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はGPA点数
担当教員	杉林 伸繁		実務経験紹介					

科目名	パーソナルスキルⅠ	単位数	1	科目コード						
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025					
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	—					
授業概要 (目的、目標と する資格・検定 等)	社会人としてのコミュニケーション能力や、産業社会で必要とされるビジネスマナーについて、その基礎を学ぶ。 また、業界企業で求められる人材像(スキル、知識、経験)を把握する。									
授業の一般目標	1) 現時点での自己PRを記述することができる。 2) 1年半後の自分の理想の姿をベースとした自己PRを記述することができる。 3) 求人情報を読んで、業界企業が求める人材像を把握できる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・ 参考書等)										
授業の到達目標										
☐ 知識・理解の観点 ・ 業界企業の求人情報を読んで、企業が求める人材像を把握できる。										
☐ 思考・判断の観点 ・ 1年半後、5年後、10年後の理想の自分を想像できる。 ・ 理想の自分に至るための学習予定を立てることができる。										
☐ 関心・意欲の観点 ・ 業界企業の企業情報を積極的に収集して企業研究を行うことができる。										
☐ 態度の観点 ・ 良識を持ち、素直な態度を取ることができる ・ 日頃の学校生活において、最低限のビジネスマナーを実践できる										
☐ 技能・表現の観点 ・ 基礎的な敬語を使用したビジネス文章を作成できる。										
授業計画(全体)										
働くということを考え、働く環境の変化(雇用形態、雇用条件)について理解する。 自己のキャリアについて考え、これから目指すべき理想の自分を把握する。 ビジネスマナーの必要性について理解し、実践できる。 ビジネス文書が作成できる。										
授業計画(授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2	働くことの理解									
3～4	キャリア発達理解									
5～6	仕事の基本的スキル									
7～8	ビジネス文書の作成									
9～10	ソーシャルメディアの活用と留意点									
11～12	企業研究・業界研究									
13～14	企業研究・業界研究									
15～16	企業研究・業界研究									
17～18	企業研究・業界研究									
19～20	企業研究・業界研究									
21～22	企業研究・業界研究									
23～24	自己PRの作成									
25～26	自己PRの作成									
27～28	自己PRの作成									
29～30	自己PRの作成									
成績評価方法										
1 提出物										
2										
3										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S(4):90点以上		
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上		
宿題授業外レポート	○	○	○	○	○		60	良、B(2):70点以上		
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満		
演習	○	○	○	○	○		40	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	()内はGPA点数		
担当教員	西田 直喜		実務経験紹介							

科目名	パーソナルスキルⅡ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	自分の強みと弱み、どのような価値観を持っているかなど、自己理解をするためのグループワークを行う。人前で話すことに慣れるためにテキストの輪読・発表を行う。							
授業の一般目標	1) 就職活動時に困らない程度の業界の常識、業務の常識、最新の常識を身につける 2) 全員の前で、自作したパワーポイント資料を使ってプレゼンテーションを行うことで人前で話すことに慣れる。 3) 他者のプレゼンテーションに質疑応答をすることでコミュニケーション力を向上させる							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 ・IT業界の常識や業務の常識を説明できる ・志望している業界の代表的な企業を列挙できる								
☒ 思考・判断の観点 ・自分の担当テーマの中から最も重要なトピックスを選択できる ・自分の長所、企業の志望理由を論理的に説明することができる								
☒ 関心・意欲の観点 ・自分の担当テーマについて第三者が理解できるよう、テキスト以外の資料も使った調査ができる								
☒ 態度の観点 ・質疑応答において、良識を持った素直な態度を取ることができる								
☒ 技能・表現の観点 ・基礎的な敬語を使用して会話ができる ・分かりやすい自己PR、志望動機を作ることができる								
授業計画（全体）								
テキストに書かれている内容を学生が分担して輪番発表する。発表時間は一人3分程度。質疑応答最大10分。発表資料を作成する際、どんな質問にも対応できるよう入念に準備をするよう指導。発表の仕方だけでなく、プレゼン資料の出来栄についても評価・指導を行う。教員、他の学生からダメだし・修正案件が生じた場合は直ちに修正するよう指導を行う。授業の後半では、実際の就職活動に向けた自己PR、志望動機を作成し、面接練習を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～2	輪番発表							
3～4	輪番発表							
5～6	輪番発表							
7～8	輪番発表							
9～10	輪番発表							
11～12	輪番発表							
13～14	輪番発表							
15～16	就活のやり方							
17～18	自己分析と企業研究のやり方							
19～20	自己PRの作り方							
21～22	志望動機の作り方							
23～24	履歴書の書き方							
25～26	面接練習							
27～28	面接練習							
29～30	面接練習							
成績評価方法								
1 全員の前でのプレゼンテーション								
2 プレゼンのために作成した資料の出来栄								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○	○	○	○		評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○	○	○		評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	西田 直喜			実務経験紹介				

科目名	検定対策Ⅰ	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験の合格を目的とする問題演習を行う。							
授業の一般目標	1) それぞれが目標とする検定資格に合格をする							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・ 知識系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☑ 思考・判断の観点 ・ 計算系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☑ 関心・意欲の観点 ・ 検定試験対策を進める上で、わからない箇所を教員やクラスメートに質問することができる								
☑ 態度の観点 ・ 合格を目指す検定資格の受験日を決定し、受験申し込みをすることができる								
☑ 技能・表現の観点 ・ 実技系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
授業計画 (全体)								
この授業科目は目標とする検定資格（ITパスポート、セキュリティマネージメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、その他の資格）ごとにクラス分けを行い、それぞれ別の教室で資格対策の授業を行う。なお、学期途中で目標検定資格に合格した場合は、より上位資格を目指すクラスへと移籍することができる。 この授業科目では、自らが定めた検定資格合格を目標に、学習計画の立案、進捗状況確認、疑問点の改善を自発的に行いながら学習を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～6	検定試験対策							
7～12	検定試験対策							
13～18	検定試験対策							
19～24	検定試験対策							
25～30	検定試験対策							
31～36	検定試験対策							
37～42	検定試験対策							
43～48	検定試験対策							
49～54	検定試験対策							
55～60	検定試験対策							
61～66	検定試験対策							
67～72	検定試験対策							
73～78	検定試験対策							
79～84	検定試験対策							
85～90	検定試験対策							
成績評価方法								
1 授業態度								
2 不可となった場合、再試験は実施しない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度	○	○	○	○	○		100	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	杉林 信繁			実務経験紹介				

科目名	検定対策Ⅱ	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験および応用情報技術者試験の合格を目的とする検定対策。受験科目は前回国試の結果による。									
授業の一般目標	1) それぞれが目標とする検定資格に合格をする									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☑ 知識・理解の観点 ・知識系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる										
☑ 思考・判断の観点 ・計算系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる										
☑ 関心・意欲の観点 ・検定試験対策を進める上で、わからない箇所を教員やクラスメートに質問することができる										
☑ 態度の観点 ・合格を目指す検定資格の受験日を決定し、受験申し込みをすることができる										
☑ 技能・表現の観点 ・実技系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる										
授業計画 (全体)										
この授業科目は目標とする検定資格 (ITパスポート、セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、その他の資格) ごとにクラス分けを行い、それぞれ別の教室で資格対策の授業を行う。なお、学期途中で目標検定資格に合格した場合は、より上位資格を目指すクラスへと移籍することができる。 この授業科目では、自らが定めた検定資格合格を目標に、学習計画の立案、進捗状況確認、疑問点の改善を自発的に行いながら学習を行う。										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1~6	検定試験対策									
7~12	検定試験対策									
13~18	検定試験対策									
19~24	検定試験対策									
25~30	検定試験対策									
31~36	検定試験対策									
37~42	検定試験対策									
43~48	検定試験対策									
49~54	検定試験対策									
55~60	検定試験対策									
61~66	検定試験対策									
67~72	検定試験対策									
73~78	検定試験対策									
79~84	検定試験対策									
85~90	検定試験対策									
成績評価方法										
1 授業態度										
2 不可となった場合、再試験は実施しない										
3										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度	○	○	○	○	○		100	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	杉林 信繁		実務経験紹介							

科目名	情報科学・数学		単位数	3	科目コード			
授業形態	講義		時間数	90	開設期	2025		
受講条件			開設時期	2 前	教員実務経験対象	—		
授業概要 (目的、目標と する資格・検定 等)	情報工学の基礎となる情報科学、数学を学ぶとともに、システム開発での応用についても学ぶ。							
授業の一般目標	1) 生成AIリテラシを身につけることで、生成AIのリスクを説明できる。 2) 生成AIにハルシネーションの少ない出力を生成させるための効果的なプロンプトを記述できる。 3) 生成AIのハルシネーションを見抜くことができる。 4) 行列において、逆行列を求めることができる。 5) 確率において、条件付確率を求めることができる。 6) 記述統計において、任意のオープンデータの平均、分散、標準偏差を求めることができる。 7) 推測統計において、任意のオープンデータの一部の標本から、全体の母集団を推測できる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・ 参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	・生成AIの基本的な仕組みやアルゴリズムを説明できる。 ・生成AIの使用に関する倫理的な課題を説明できる。 ・国家試験に出題される行列、確率の問題を解くことができる。							
☑ 思考・判断の観点	・生成AIが生成した出力の正誤を見抜くことができる。							
☑ 関心・意欲の観点								
☑ 態度の観点	・生成AIの使用における倫理的責任を理解し、責任ある行動を取ることができる。							
☑ 技能・表現の観点	・適切なプロンプトを記述して、ハルシネーションのない出力を得ることができる。 ・任意のオープンデータに対して記述統計、推測統計の技法を適用することができる。							
授業計画 (全体)								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～6	生成AI概要							
7～12	プロンプト作成の基本							
13～18	プロンプトエンジニアリングのベストプラクティス							
19～24	プロンプトパターンの活用							
25～30	OpenAI APIの活用							
31～36	OpenAI APIの活用							
37～42	OpenAI APIの活用							
43～48	行列							
49～54	行列							
55～60	確率							
61～66	確率							
67～72	記述統計							
73～78	推測統計							
79～84	推測統計							
85～90	期末テスト							
成績評価方法								
1 期末試験 (筆記)								
2 授業態度								
3 提出物 (宿題)								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はGPA点数
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介				

科目名	プログラム言語Ⅱ	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標と する資格・検定 等)	使用言語：HTML+CSS、JavaScript、PHP WebアプリのフロントエンドをHTML+CSS、JavaScriptで開発する。バックエンドはPHPと任意のデータベース管理システムで開発する。SQLインジェクションなどの脅威に対抗する技法も合わせて学習する。この授業ではLaravel等のフレームワークは使用しない。									
授業の一般目標	1) 一般的なWebサイトの構造が理解できる。 2) フロントエンドを利用するユーザの立場に立って、UIを作成することができる。 3) エラー・バグのないWebアプリを開発することができる。 4) セキュリティを考慮したWebアプリを開発することができる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・ 参考書等)										
授業の到達目標										
☐ 知識・理解の観点										
☐ 思考・判断の観点										
☐ 関心・意欲の観点										
☐ 態度の観点										
☐ 技能・表現の観点										
授業計画（全体）										
授業計画（授業単位）										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2										
3～4										
5～6										
7～8										
9～10										
11～12										
13～14										
15～16										
17～18										
19～20										
21～22										
23～24										
25～26										
27～28										
29～30										
成績評価方法										
1 期末試験（筆記）										
2 授業態度										
3 提出物（宿題）										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上		
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上		
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数		
担当教員	茄子川 導彦			実務経験紹介						

科目名	ノーコード／ローコード	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2後	教員実務経験対象	—					
授業概要 (目的・目標と する資格・検定 等)	PowerApps、kintoneを用いて、ビジネスプロセス自動化を行うためのノーコード／ローコード開発を行う。									
授業の一般目標	1) ノーコード・ローコード開発の背景や現状を説明できる。 2) ノーコード・ローコード開発の背景やメリット・デメリットを説明できる。 3) ノーコード・ローコードの開発ツールを使って、ビジネスアプリを実装できる。									
受講条件										
事前学習につ いて(テキスト・ 参考書等)										
授業の到達目標										
☒ 知識・理解の観点										
☒ 思考・判断の観点										
☒ 関心・意欲の観点										
☒ 態度の観点										
☒ 技能・表現の観点										
授業計画(全体)										
授業計画(授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2										
3～4										
5～6										
7～8										
9～10										
11～12										
13～14										
15～16										
17～18										
19～20										
21～22										
23～24										
25～26										
27～28										
29～30										
成績評価方法										
1 期末試験(筆記)										
2 授業態度										
3 提出物(宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S(4):90点以上		
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上		
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	()内はGPA点数		
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介						

科目名	課題解決	単位数	4	科目コード						
授業形態	実習	時間数	120	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2通期	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的・目標と する資格・検定 等)	IT系企業もしくは一般企業での企業実習もしくはプロジェクトベースドラーニングを行う。									
授業の一般目標										
受講条件										
事前学習について (テキスト・ 参考書等)										
授業の到達目標										
☐ 知識・理解の観点										
☐ 思考・判断の観点										
☐ 関心・意欲の観点										
☐ 態度の観点										
☐ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2	取り組む課題の説明とチーム編成									
3～4	課題解決演習									
5～6	課題解決演習									
7～8	課題解決演習									
9～10	課題解決演習									
11～12	課題解決演習									
13～14	課題解決演習									
15～16	課題解決演習									
17～18	課題解決演習									
19～20	課題解決演習									
21～22	課題解決演習									
23～24	課題解決演習									
25～26	課題解決演習									
27～28	課題解決演習									
29～30	成果発表会									
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記)										
2 授業態度										
3 提出物 (宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	中村 誠		実務経験紹介							

科目名	パーソナルスキルⅢ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的、目標と する資格・検定 等)								
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習につ いて(テキスト・ 参考書等)								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2								
3～4								
5～6								
7～8								
9～10								
11～12								
13～14								
15～16								
17～18								
19～20								
21～22								
23～24								
25～26								
27～28								
29～30								
成績評価方法								
1 期末試験(筆記)								
2 授業態度								
3 提出物(宿題)								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S(4):90点以上
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	森野 茂弘		実務経験紹介					

科目名	パーソナルスキルⅣ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2後	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的・目標と する資格・検定 等)	社会人としてスタートするに必要となる一般的な個人的なスキルを身に付ける							
授業の一般目標	1) 就職活動時に困らない程度のビジネスマナーを身に着ける 2) 社会人になった時に困らない程度のビジネスマナーを身に着ける							
受講条件								
事前学習について (テキスト・ 参考書等)								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 ・一般的なマナーを日常生活にて実施できる。								
☒ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 ・授業に主体的に取り組み、周囲との共同作業も円滑に実施できる。 ・授業内で出された課題において、全て実施できている。 ・授業でのシミュレーションに真剣に取り組むことができる。								
☒ 技能・表現の観点 ・敬語を使用して会話ができる								
授業計画(全体)								
一般的なマナーから学ぶ。基本動作、身だしなみ、敬語などを課題を通じて学ぶ。 企業説明会や社会人として最低限必要なメモの取り方、話し方などを課題を通じて学ぶ。 就職活動が本格化する前に面接のロールプレイングや電話の受け応えなどをロールプレイングにて実施。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	基本動作(お辞儀・挨拶)、顧客意識、身だしなみ							
3～4	敬語の種類と使い分け・演習							
5～6	好ましい表現							
7～8	コミュニケーションモデル、話し方・聞き方、メモの取り方演習							
9～10	話し方・聞き方、メモの取り方演習							
11～12	話し方・聞き方、メモの取り方演習							
13～14	就職面接申し込みの電話ロールプレイング							
15～16	電話の受け方・かけ方の基本ロールプレイング							
17～18	就職面接申し込みの電話ロールプレイング							
19～20	添え状の書き方							
21～22	面接ロールプレイング							
23～24	面接ロールプレイング							
25～26	名刺交換・紹介							
27～28	後期試験							
29～30	後期試験解答・解説							
成績評価方法								
1 期末試験(筆記)								
2 授業態度								
3 提出物(宿題)								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○			○	○		評価なし	秀、S(4):90点以上
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート	○			○	○		評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	森野 茂弘		実務経験紹介					

科目名	プログラム言語Ⅲ	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	—					
授業概要 (目的・目標と する資格・検定 等)	使用言語：C# もしくはVisual BASIC C# もしくはVisual BASICのいずれかの習得を行う。プログラム言語Ⅰの経験を基に、自ら言語仕様を調べ、新しいプログラム言語を独学する練習を行う。GUIアプリの開発だけでなく、ODBC経由でDBMSに接続する方法やソケット通信の方法も独学練習する。									
授業の一般目標	1) 新しいプログラム言語を独学できる。 2) Windows上で動作するGUIアプリを開発することができる。 3) ODBC経由でDBMSに接続できる。 4) ソケットを用いたクライアント、サーバー側のアプリを実装できる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☒ 知識・理解の観点										
☒ 思考・判断の観点										
☒ 関心・意欲の観点										
☒ 態度の観点										
☒ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2										
3～4										
5～6										
7～8										
9～10										
11～12										
13～14										
15～16										
17～18										
19～20										
21～22										
23～24										
25～26										
27～28										
29～30										
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記)										
2 授業態度										
3 提出物 (宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介						

科目名	テスト技法	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	—					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ソフトウェアの品質保証を行うためのテスト技法を習得し、テストケース作成の演習をおこなう。									
授業の一般目標	1) JSTQB認定テスト技術者試験の問題を解くことができる。 2) ブラックボックステストやホワイトボックステストなどのソフトウェアテストを実施できる。 3) テスト計画の立案・進捗管理ができる。 4) テスト管理ツールや自動化ツールを活用できる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☐ 知識・理解の観点										
☐ 思考・判断の観点										
☐ 関心・意欲の観点										
☐ 態度の観点										
☐ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2										
3～4										
5～6										
7～8										
9～10										
11～12										
13～14										
15～16										
17～18										
19～20										
21～22										
23～24										
25～26										
27～28										
29～30										
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記)										
2 授業態度										
3 提出物 (宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	森野 茂弘		実務経験紹介							

科目名	アプリ開発演習 I	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	120	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的・目標と する資格・検定 等)								
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習につい て(テキスト・ 参考書等)								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点								
☒ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1~2								
3~4								
5~6								
7~8								
9~10								
11~12								
13~14								
15~16								
17~18								
19~20								
21~22								
23~24								
25~26								
27~28								
29~30								
成績評価方法								
1 期末試験(筆記)								
2 授業態度								
3 提出物(宿題)								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S(4):90点以上
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介				

科目名	アプリ開発演習Ⅱ	単位数	5	科目コード				
授業形態	演習	時間数	150	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	—			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)								
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1～2								
3～4								
5～6								
7～8								
9～10								
11～12								
13～14								
15～16								
17～18								
19～20								
21～22								
23～24								
25～26								
27～28								
29～30								
成績評価方法								
1 期末試験 (筆記)								
2 授業態度								
3 提出物 (宿題)								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90 点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80 点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70 点以上
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60 点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59 点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内は GPA 点数
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介				

科目名	ネットワーク基礎	単位数	2	科目コード						
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	中小規模の企業内ネットワーク設計・構築にかかわる知識を教授する。									
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ネットワークスペシャリスト試験に出題されるネットワークの問題を解くことができる。 2) ネットワークの動作原理を理解し、基本的トラブルシューティングができる。 3) 有線・無線を組み合わせた中小規模ネットワークを自分で構築することができる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☒ 知識・理解の観点										
☒ 思考・判断の観点										
☒ 関心・意欲の観点										
☒ 態度の観点										
☒ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2										
3～4										
5～6										
7～8										
9～10										
11～12										
13～14										
15～16										
17～18										
19～20										
21～22										
23～24										
25～26										
27～28										
29～30										
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記)										
2 授業態度										
3 提出物 (宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90 点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80 点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70 点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60 点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59 点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内は GPA 点数		
担当教員	杉林 信繁		実務経験紹介							

科目名	データベース基礎	単位数	2	科目コード						
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標と する資格・検定 等)	データベースにかかわる基礎的な知識を教授する。									
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験に出題されるデータベースの問題を解くことができる。 2) E-R図などを使用してデータモデルを記述できる。 3) データ定義言語を用いて、設計したデータモデルをデータベース上に構築できる。 4) データ操作言語を用いて、データベースの参照・更新・変更ができる。 5) 副問い合わせを用いた複雑な検索クエリをSQLで記述できる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・ 参考書等)										
授業の到達目標										
☒ 知識・理解の観点										
☒ 思考・判断の観点										
☒ 関心・意欲の観点										
☒ 態度の観点										
☒ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2										
3~4										
5~6										
7~8										
9~10										
11~12										
13~14										
15~16										
17~18										
19~20										
21~22										
23~24										
25~26										
27~28										
29~30										
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記) 2 授業態度 3 提出物 (宿題) 4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90 点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80 点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70 点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60 点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59 点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	金田 恒雄			実務経験紹介						

科目名	サーバー構築	単位数	2	科目コード						
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	Debian GNU Linuxのインストールから、各種サーバーの構築までの演習を行う。構築するサーバーはDNS、メール、Web、Proxy、他とする。オンプレミスだけでなく、コンテナでの構築も演習を行う。									
授業の一般目標	1) Debian GNU Linuxのインストールができる。 2) 各種サーバーの構築（インストール、設定、運用）を行うことができる。 3) コンテナ技術のひとつであるDocker上でも各種サーバーの構築を行うことができる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☒ 知識・理解の観点										
☒ 思考・判断の観点										
☒ 関心・意欲の観点										
☒ 態度の観点										
☒ 技能・表現の観点										
授業計画（全体）										
授業計画（授業単位）										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2										
3～4										
5～6										
7～8										
9～10										
11～12										
13～14										
15～16										
17～18										
19～20										
21～22										
23～24										
25～26										
27～28										
29～30										
成績評価方法										
1 期末試験（筆記）										
2 授業態度										
3 提出物（宿題）										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上		
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上		
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数		
担当教員	杉林 信繁		実務経験紹介							

科目名	ネットワーク実践	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	大規模な企業内ネットワークや通信事業者が構築するネットワークの設計・構築にかかわる実践的な知識を教授する。									
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ネットワークスペシャリスト試験に出題されるネットワークの問題を解くことができる。 2) ネットワークの動作原理を理解し、障害発生時に対応できる。 3) ルーター・L3スイッチを用いた大規模ネットワークを自分で構築することができる。 4) シミュレータ上で、複数のAS間にまたがるネットワークを自分で構築することができる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☐ 知識・理解の観点										
☐ 思考・判断の観点										
☐ 関心・意欲の観点										
☐ 態度の観点										
☐ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1~2										
3~4										
5~6										
7~8										
9~10										
11~12										
13~14										
15~16										
17~18										
19~20										
21~22										
23~24										
25~26										
27~28										
29~30										
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記)										
2 授業態度										
3 提出物 (宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90 点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80 点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70 点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60 点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59 点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	杉林 信繁		実務経験紹介							

科目名	データベース実践	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	データベースにかかわる実践的な知識を教授する。									
授業の一般目標	1) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、データベーススペシャリスト試験に出題されるデータベースの問題を解くことができる。 2) データ制御言語を用いてトランザクションの制御や、ユーザ権限の付与ができる。 3) インデックスやSQLクエリ最適化によるデータベースのチューニングができる。 4) データベースのアプリケーションソフトの設定を変更してチューニングができる。 5) データベースのバックアップを行うことができる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☐ 知識・理解の観点										
☐ 思考・判断の観点										
☐ 関心・意欲の観点										
☐ 態度の観点										
☐ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～2										
3～4										
5～6										
7～8										
9～10										
11～12										
13～14										
15～16										
17～18										
19～20										
21～22										
23～24										
25～26										
27～28										
29～30										
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記)										
2 授業態度										
3 提出物 (宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	金田 恒雄		実務経験紹介							

科目名	クラウドオペレーション	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	0					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	クラウド上のサービスを用いて、システム開発、サービス開発を行うための考え方を学び、実際にクラウド上でのオペレーションについての演習を行う。									
授業の一般目標	1) クラウドの動き・特徴を説明することができる。 2) クラウド上にインフラを構築することができる。 3) クラウド上のサービスを用いて、システム開発、サービス開発を行うための考え方を学び、実際にクラウド上でのオペレーションができるようになる。 4) Webアプリケーションをクラウド上にデプロイすることができる。									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☐ 知識・理解の観点										
☐ 思考・判断の観点										
☐ 関心・意欲の観点										
☐ 態度の観点										
☐ 技能・表現の観点										
授業計画 (全体)										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1~2										
3~4										
5~6										
7~8										
9~10										
11~12										
13~14										
15~16										
17~18										
19~20										
21~22										
23~24										
25~26										
27~28										
29~30										
成績評価方法										
1 期末試験 (筆記)										
2 授業態度										
3 提出物 (宿題)										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介						

科目名	検定対策Ⅲ	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験および応用情報技術者試験の合格を目的とする検定対策。受験科目は前回国試の結果による。							
授業の一般目標	1) それぞれが目標とする検定資格に合格をする							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・知識系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☑ 思考・判断の観点 ・計算系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
☑ 関心・意欲の観点 ・検定試験対策を進める上で、わからない箇所を教員やクラスメートに質問することができる								
☑ 態度の観点 ・合格を目指す検定資格の受験日を決定し、受験申し込みをすることができる								
☑ 技能・表現の観点 ・実技系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる								
授業計画 (全体)								
この授業科目は目標とする検定資格（ITパスポート、セキュリティマネージメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、その他の資格）ごとにクラス分けを行い、それぞれ別の教室で資格対策の授業を行う。なお、学期途中で目標検定資格に合格した場合は、より上位資格を目指すクラスへと移籍することができる。 この授業科目では、自らが定めた検定資格合格を目標に、学習計画の立案、進捗状況確認、疑問点の改善を自発的に行いながら学習を行う。								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	検定試験対策							
7～12	検定試験対策							
13～18	検定試験対策							
19～24	検定試験対策							
25～30	検定試験対策							
31～36	検定試験対策							
37～42	検定試験対策							
43～48	検定試験対策							
49～54	検定試験対策							
55～60	検定試験対策							
61～66	検定試験対策							
67～72	検定試験対策							
73～78	検定試験対策							
79～84	検定試験対策							
85～90	検定試験対策							
成績評価方法								
1 授業態度								
2 不可となった場合、再試験は実施しない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度	○	○	○	○	○		100	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	杉林 伸繁			実務経験紹介				

科目名	検定対策Ⅳ	単位数	3	科目コード						
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2025					
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	基本情報技術者試験および応用情報技術者試験の合格を目的とする検定対策。受験科目は前回国試の結果による。									
授業の一般目標	1) それぞれが目標とする検定資格に合格をする									
受講条件										
事前学習について (テキスト・参考書等)										
授業の到達目標										
☑ 知識・理解の観点 ・知識系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる										
☑ 思考・判断の観点 ・計算系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる										
☑ 関心・意欲の観点 ・検定試験対策を進める上で、わからない箇所を教員やクラスメートに質問することができる										
☑ 態度の観点 ・合格を目指す検定資格の受験日を決定し、受験申し込みをすることができる										
☑ 技能・表現の観点 ・実技系検定試験の模擬試験において、合格点以上とることができる										
授業計画 (全体)										
この授業科目は目標とする検定資格 (ITパスポート、セキュリティマネージメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、その他の資格) ごとにクラス分けを行い、それぞれ別の教室で資格対策の授業を行う。なお、学期途中で目標検定資格に合格した場合は、より上位資格を目指すクラスへと移籍することができる。 この授業科目では、自らが定めた検定資格合格を目標に、学習計画の立案、進捗状況確認、疑問点の改善を自発的に行いながら学習を行う。										
授業計画 (授業単位)										
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録					
1～6	検定試験対策									
7～12	検定試験対策									
13～18	検定試験対策									
19～24	検定試験対策									
25～30	検定試験対策									
31～36	検定試験対策									
37～42	検定試験対策									
43～48	検定試験対策									
49～54	検定試験対策									
55～60	検定試験対策									
61～66	検定試験対策									
67～72	検定試験対策									
73～78	検定試験対策									
79～84	検定試験対策									
85～90	検定試験対策									
成績評価方法										
1 授業態度										
2 不可となった場合、再試験は実施しない										
3										
4										
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上		
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上		
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上		
授業態度	○	○	○	○	○		100	可、C (1) : 60点以上		
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満		
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F		
出席							欠格条件	() 内はGPA点数		
担当教員	杉林 伸繁		実務経験紹介							

科目名	プロジェクトマネジメント		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	3 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	PMBOKを基にプロジェクトマネジメントの考え方を理解し、プロジェクトマネジメントで使用する標準的な用語を用いて、プロジェクト内でのコミュニケーションが取れるようにする。							
授業の一般目標	1) PMBOK第7版とそれ以前の版の違いを説明できる。 2) プロジェクトのメンバーとして、他のメンバーと協働することができる。 3) 成果に焦点を与えたマネジメントを実施できる。 4) プロジェクトの価値の最大化に取り組むことができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：担当になったら知っておきたい「プロジェクトマネジメント」実践講座							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点		・プロジェクトマネジメントの重要性と役割を説明できる。 ・PMBOKに基づく知識エリアとプロセス群を理解し、説明できる。						
☑ 思考・判断の観点		・プロジェクト内での報告・連絡・相談が適切に行える。						
☑ 関心・意欲の観点		・プロジェクト成功のための手法や実例に主体的な関心を持って学ぶことができる。						
☑ 態度の観点		・チーム内で協調し、責任を持って課題に取り組むことができる。						
☑ 技能・表現の観点		・プロジェクトに必要な成果物（WBS、スケジュール、リスク計画など）を作成できる。 ・小規模なプロジェクトの計画書を作成し、発表できる						
授業計画（全体）								
PMBOKに基づき、プロジェクトの計画、実行、監視、終結までを15回に分けて学習。WBS作成、リスク管理、チーム内連携など実践を通じて習得し、最終的に成果を発表する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	プロジェクトマネジメントの基本							
5～8	PMBOK概要とプロジェクトマネジメントの枠組							
9～12	プロジェクト統合マネジメント							
13～16	スコープマネジメントとWBS作成							
17～20	スケジュールマネジメント（ガントチャート作成）							
21～24	コストマネジメントと見積もり手法							
25～28	品質・資源マネジメント							
29～32	コミュニケーションとステークホルダーマネジメント							
33～36	リスクマネジメント（リスク特定・分析）							
37～40	調達マネジメントと契約管理							
41～44	チームビルディングとコンフリクトマネジメント							
45～48	成果物レビュー・プレゼン準備							
49～52	成果物レビュー・プレゼン準備							
53～56	プレゼンテーション（グループ発表）							
57～60	プレゼンテーション（グループ発表）							
成績評価方法								
1 提出物（プロジェクト成果物）								
2 授業態度								
3 プレゼンテーション								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度	○	○	○	○			60	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○			○		40	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	中村 誠			実務経験紹介	・企業での情報システム部門、ITコンサルタント http://www.shonanwind.com/profile.html			

科目名	ITゼミナール		単位数	9	科目コード			
授業形態	講義		時間数	270	開設期	2025		
受講条件			開設時期	3 前	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的・目標と する資格・検定 等)	AI、IoT、ロボット制御などの先端技術を、各教員の専門に応じてゼミ形式で学び、実践的な演習を通じて理解を深める。技術の背景理解からアプリ開発までを目指す。							
授業の一般目標	1) 先端技術の原理・背景・現状を説明できる。 2) 学んだ技術を応用し、簡単なアプリやシステムを実装できる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・ 参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・先端技術 (AI・IoT・ロボット等) の基本概念や仕組みを理解し、特徴や用途を説明できる。								
☑ 思考・判断の観点 ・課題に応じて適切な技術や手法を選択し、システム設計に反映できる。								
☑ 関心・意欲の観点 ・新しい技術への興味を持ち、自発的に調査・実験・発表に取り組む姿勢を持てる。								
☑ 態度の観点 ・ゼミ活動に主体的に参加し、他者と協力して学び合う姿勢を持ち続けられる。								
☑ 技能・表現の観点 ・先端技術を用いたアプリやシステムを実装し、成果をわかりやすく発表できる。								
授業計画 (全体)								
複数教員によるゼミ形式で、AI・IoT・ロボット制御などの先端技術を分担して指導する。技術の背景理解、基本実装、応用演習を段階的にを行い、最後に成果物の発表を行う。								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～18	【導入・共通講義】先端技術概論、AI・IoT・ロボットの概要と社会的意義							
19～36	【AI①】機械学習の基礎 (教師あり・なし学習、分類と回帰)							
37～54	【AI②】画像認識入門 (OpenCV+TensorFlow)							
55～72	【AI③】自然言語処理 (チャットボット、文章分類)							
73～90	【IoT①】IoTの構成と基礎知識、センサーデバイスの種類と使用法							
91～108	【IoT②】マイコン制御 (Arduino/ESP32) + センサーデータ取得演習							
109～126	【IoT③】ネットワーク連携 (MQTT/HTTP) + クラウドにデータ送信し可視化							
127～144	【ロボット①】ロボット制御の基礎 (モーター制御・センサー入力)							
145～162	【ロボット②】ライントレース制御、フィードバック制御の基礎演習							
163～180	【ロボット③】複数センサーを用いた自律動作プログラミング							
181～198	【応用①】自由課題の選定とグループ分け、要件定義と設計							
199～216	【応用②】システム開発 (中間レビュー)、実装フェーズ							
217～234	【応用③】システム開発の続き、完成に向けた調整と改善							
235～252	【成果発表準備】資料作成、発表練習、動作確認							
253～270	【最終発表会】プロジェクト発表・デモ+講評・振り返り							
成績評価方法								
1 提出物 (成果物)								
2 授業態度								
3 成果発表・プレゼンテーション								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度	○	○	○	○	○		20	可、C (1) : 60点以上
発表・作品	○	○			○		80	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はGPA点数
担当教員	柳川 小次郎			実務経験紹介				

[illegible]

[illegible]

科目名	パーソナルスキルⅤ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	3 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	社会人として他の模範となる個人的なスキルを身に付ける							
授業の一般目標	1) 学んだ内容を整理し、分かりやすいスライド資料としてまとめることができる。 2) 聴衆を意識して、論理的かつ明瞭な発表をすることができる。 3) 誤解のないビジネス文章を作成できる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：ＩＴの仕事に就いたら「最低限」知っておきたい最新の常識							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・社会人として必要なビジネスマナー、言葉遣い、報道相などの基本常識を体系的に理解し、実践することができる。								
☑ 思考・判断の観点 ・状況に応じた適切な対応や表現方法を選ぶことができる。								
☑ 関心・意欲の観点 ・自らの力不足を素直に認め、立派な社会人になるための努力をすることができる。								
☑ 態度の観点 ・常に謙虚な姿勢で学び、周囲と協調しながら誠実に行動できる。								
☑ 技能・表現の観点 ・誤解のないビジネス文章や分かりやすいスライド資料を作ることができる。								
授業計画（全体）								
テキストなどの教材に書かれている内容を学生が分担して輪番発表する。発表時間は一人3分程度。質疑応答最大10分。発表資料を作成する際、どんな質問にも対応できるよう入念に準備を行う。教員、他の学生からダメだし・修正案件が生じた場合は直ちに修正を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	輪読やり方、ジグソー法について							
3～4	輪番発表資料作成							
5～6	輪番発表資料作成							
7～8	輪番発表資料作成							
9～10	輪番発表資料作成							
11～12	輪番発表							
13～14	輪番発表							
15～16	輪番発表資料作成							
17～18	輪番発表資料作成							
19～20	輪番発表							
21～22	輪番発表							
23～24	輪番発表資料作成							
25～26	輪番発表資料作成							
27～28	輪番発表							
29～30	輪番発表							
成績評価方法								
1 提出物 2 授業態度 3 プレゼンテーション 4 質疑応答の適切さ								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	○			60	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○	○	○		40	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	柳川 小次郎		実務経験紹介					

科目名	パーソナルスキルⅥ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	3 後	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	社会人としてスタートするに必要なとなる一般的な個人的なスキルを身に付ける。							
授業の一般目標	1) 学んだ内容を整理し、分かりやすいスライド資料としてまとめることができる。 2) 聴衆を意識して、論理的かつ明瞭な発表をすることができる。 3) 誤解のないビジネス文章を作成できる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト：ITの仕事に就いたら「最低限」知っておきたい最新の常識							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 ・社会人として必要なビジネスマナー、言葉遣い、報連相などの基本常識を体系的に理解し、実践することができる。								
☑ 思考・判断の観点 ・状況に応じた適切な対応や表現方法を選ぶことができる。								
☑ 関心・意欲の観点 ・自らの力不足を素直に認め、立派な社会人になるための努力をすることができる。								
☑ 態度の観点 ・常に謙虚な姿勢で学び、周囲と協調しながら誠実に行動できる。								
☑ 技能・表現の観点 ・誤解のないビジネス文章や分かりやすいスライド資料を作ることができる。								
授業計画（全体）								
テキストなどの教材に書かれている内容を学生が分担して輪番発表する。発表時間は一人3分程度。質疑応答最大10分。 発表資料を作成する際、どんな質問にも対応できるよう入念に準備を行う。教員、他の学生からダメだし・修正案件が生じた場合は直ちに修正を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	輪番発表資料作成							
3～4	輪番発表資料作成							
5～6	輪番発表							
7～8	輪番発表							
9～10	輪番発表資料作成							
11～12	輪番発表資料作成							
13～14	輪番発表							
15～16	輪番発表							
17～18	輪番発表資料作成							
19～20	輪番発表資料作成							
21～22	輪番発表							
23～24	輪番発表							
25～26	輪番発表資料作成							
27～28	輪番発表							
29～30	輪番発表							
成績評価方法								
1 提出物 2 授業態度 3 プレゼンテーション 4 質疑応答の適切さ								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	○			60	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○	○	○		40	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	柳川 小次郎		実務経験紹介					